

ジョン・ムーア
John Moore

社会 企業家
SEEDS OF LIFE 代表



私の意見

my opinion

MIRAI NO TANNE 未来の種

あなたの地元のスーパーには5〜10種類のりんごがあるでしょう。ふじは1,000種ほどのりんご原種のDNAから人が造り出したF1 (first filial generation = 雑種第一代) の略。交配によって作られた新品種の農産物や家畜を指す) のDNAりんごで、最も多く買われています。平均的な味、サイズ、色、DNAが弱く、水分が多く、栄養素が低いものです。私たちの子どもたちは、本物のりんごではない、平均的な味の、F1のりんごの甘さしか知りません。

過去100年間に、食物のDNAの75%が絶えました。それは二度と戻ってきません。流通している農産品のうち、F1の種が占める割合は現在、約80〜90%です。

私たちSeeds of Lifeは高知県仁淀川町椿山で、この地域で長年栽培されてきた在来種の種子の存続に取り組む社団法人です。

椿山で育った在来種野菜を輸送し販売するビジネスネットワークを展開しています。売り上げの1%がSeeds of Lifeの次世代のための活動に充てられます。

椿山の地域固有のきゅうりはとてもユニークです。世界中のどこにもありません！

どの村も独自の気候、土壌、バクテリア、日光、月光、水そして何より独自の種を有しています。

季節の食べ物は祭と文化、言葉、歌、踊り、レシピ、そして笑顔と贈り物を創り出してきました。

在来の種子を育むことは、その土地に受け継がれてきた食べ物ものを育むことであり、生活文化そのものを育みつつ学ぶことにもなります。

さあ、新しい明日の種を蒔きましょう。人類だけでなく、すべての生命のために。

サポーターになる、在来種の寄付、または在来野菜の販売には、Seeds of Lifeのホームページ <http://www.seedsof.life.org> にアクセスしてください。

英国シェフィールド大学教育学部卒業後、教師を経て、電通に入社。コピーライターとして活躍する。カンヌ国際広告賞、Belding、クリオ賞、電通社長賞、FCC賞、Nokia Global Enterprise 2009年受賞。その後、アウトドア用品メーカー・バタゴニア日本支社長に就任し、現在はSEEDS OF LIFE代表。社会企業家。コミュニケーションディレクター。英国公認教師、オーガニックフード・ガーデニング教師。